

こんどう  
金堂 国宝

仁和寺の最も重要なお堂。  
慶長18(1613)年に造営  
された御所内裏紫宸殿を賜り、  
寛永19~21(1642~44)年  
にかけ移築されたものです。



外観は屋根を瓦葺に変え、  
西の庇を取り除きましたが、紫宸殿の外観を残したことにより、門跡寺院らしい  
佇まいを醸しています。

半面堂内は、新たに板扉を設けることで、出家者の空間である内陣と人々  
の空間である外陣にわけ、区別しています。

興味深いのは板扉の飾金具で、門跡寺院らしさを意識してが菊花を表し  
ます。この菊花を金具全体に描き、そこに露を散らすなど、桃山時代風の  
意匠表現が顕著で、江戸時代初期の造作ながら、桃山建築に沿わせた  
装飾が見とれます。



■ 金堂壁画

阿弥陀三尊像の後壁及び柱、長押部分には仏画が描かれています。  
後壁の中央三間には阿弥陀浄土変が、左右それぞれ一間には「瓊祇塔」  
「南天鉄塔」に関わる図が描かれています。

浄土変は西方極楽浄土の光景を伝統的な阿弥陀浄土曼荼羅の図像を  
踏襲して表しています。向かって左には巨大な三日月形の上に須弥山、さらに  
その上に大きく瓊祇塔が、向かって右には、いわゆる「南天鉄塔図」として  
知られる図像が描かれています。これは南印度にあった鉄塔の中に鬼神に  
よって守秘されていた『金剛頂經』の教えを、龍猛が法力によって塔内に入り  
暗誦することを得たという伝説を絵画化したものです。

さらに須弥壇に接する柱四本と内陣左右の二本の計六本の柱に、総計  
四八体の尊像が描かれ、金堂堂内を荘厳しています。

「霊宝館」秋季名宝展公開中

仁和寺霊宝館では、この金堂裏堂と経蔵の特別拝観にあわせ、  
五大明王に関する仏画や経典類を公開致します。実際に法要で  
用いられてきたものや貴重な宝物、さらには創建当時の本尊阿弥陀  
三尊像、金堂、経蔵に関するものなど、特別拝観に関連した内容と  
なっておりますので、こちらも是非ご覧くださいませ。

| 期間 | 平成30年10月1日(月) - 11月25日(日) 期間中無休  
| 時間 | 9:00 - 17:00 (16:30 受付終了)  
| 料金 | 大人500円 / 中高生300円  
(30名以上で団体割引: 大人450円・中高270円)

【告知】

仁和寺観音堂(重要文化財) 平成大修理  
修復落慶法要  
2019年5月15日(水) - 5月21日(火)

応仁の乱によって仁和寺境内は悉く焼失(1468年)し、約170  
年を経た1640(寛永~正保年間)年代によやく仁和寺観音堂は  
再建されました。

爾来370有余年御本尊千手観世音菩薩さまの御威光あたらかに  
衆徒に御利益をひろめて参りましたが堂宇の損傷著しく、2012(平成  
24)年12月より約6年の歳月をかけ大修理事業が行われ2018(平成  
30)年秋に完工の運びとなりました。

観音堂は修行僧の道場でありその集大成の儀式・伝法灌頂が執行  
されるお堂でもあります。その故、通常非公開となっておりますが、この  
記念すべき平成の大修理事業の完遂という慶祝行事に特別公開し、  
千手観世音菩薩さまとの御縁を結ぶ「修復落慶法要」を盛大に執行  
致します。

この記念すべき平成の大修理事業の完遂という慶賀を多くの人びとと  
わかつために、千手観世音菩薩さまとの御縁を結ぶ「修復落慶法要」  
をご案内致します。

| 春季特別内拝 | 2019年5月15日(水) - 7月15日(月・祝)  
| 秋季特別内拝 | 2019年9月7日(土) - 11月24日(日)  
| 料金 | 大人1,000円 ※記念品付き

| お問い合わせ |

世界遺産 真言宗御室派 総本山

仁和寺 財務部 拝観課

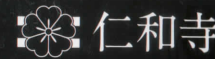
〒616-8092 京都府京都市右京区御室大内33

TEL / 075-461-1155 FAX / 075-464-4070 <http://ninnaji.jp>

仁和寺webサイト  
QRコード



世界遺産 真言宗御室派 総本山



第51世門跡晋山記念

初公開: 金堂裏堂 五大明王壁画 / 経蔵

仁和寺 秋の特別拝観

Ninnaji Temple  
Special Admission

平成30年10月13日(土) - 12月16日(日)

| 拝観時間 | 9:30 - 16:30 (16:00 受付終了)

| 拝観料 | 一般800円 / 高校生以下無料(次世代への文化支援)



# 秋の特別拝観について

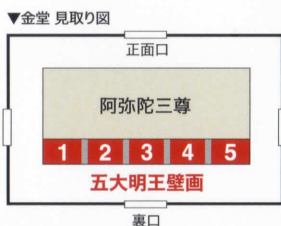
仁和4(888)年に創建された仁和寺は、現在に至るまで真言宗の法流の内、野沢根本十二流の一つ、西院流の法灯を脈々と受け継いできました。この度、平成30年6月23日に第51世門跡が就任された事を記念し、金堂裏堂に描かれている五大明王を初公開いたします。

金堂裏堂は通常、一般の方は目にする事が出来ない場所であり、僧侶も蠟燭の薄暗い明かりでしか見る事がありません。今回、建立より372年を経た国宝 金堂と、重要文化財 経蔵を、期間中のみ特別に拝観いただけます。

## 【五大明王配置】

向かって東(左)から西(右)

1. 金剛薬叉明王 こんごうやくしゃ みょうおう
2. 降三世明王 ごうざんぜ みょうおう
3. 不動明王 ふどう みょうおう
4. 軍荼利明王 ぐんだり みょうおう
5. 大威徳明王 だいいとく みょうおう



## 経蔵 重要文化財

金堂東側に建つ3間四面の宝形造、瓦葺の建物で、寛永～正保年間(1640年代)に建立されました。内部には回転式の八角輪蔵が設けられ、この輪蔵を回転させると、それだけで経典を読誦したのと同様の御利益が得られるものと信じられています。輪蔵には768の経箱が備えられており、中には天台僧正が刊行した一切経が収められています。

建物の外観は、寛永期のほかの堂宇と異なり、正面の唐戸の両脇間に花頭窓や、円柱に大きく膨らむを設けるなど、禅宗様で統一されています。



## 1 金剛薬叉明王 こんごうやくしゃ みょうおう

馬がいなく様なたてがみと牙が印象的です。經典にはこの牙で一切の苦しみや悪、煩惱を噛み砕き、呑み込んでしまうと記されています。

この明王は、威力ある神という意味で鬼神の名である薬叉と名付けられました。また一切の苦しみを呑み込んでしまうことから、この明王を怨敵を打ち破る調伏の祈祷で修されますが、敬愛でも修されることもあります。

また不食または拒食の人に靈験あらたかといわれ、この尊の加持した食物を与えればたちまちに完食するといわれています。

●密号(密教における称号): 調伏金剛。不空成就如来の变化身(仏が人々を救うために姿を変えてあらわれた身)です。

## 2 降三世明王 ごうざんぜ みょうおう

大日如来が須弥山頂で『金剛頂経』を説こうとした時、大自在天達が仏勅に従わなかった為、大日如来がこの降三世明王に変化し、大自在天達を屈服させたと言われています。右足で踏まれているのは、この時に恭順した大自在天、左足は妻の烏摩妃です。

降三世の三世とは、過去・現在・未来の三世を示し、この三世の煩惱を降すと言われ、息災を目的に修法されることもありますが、この尊が出現した上記の因縁に基づき、もっぱら調伏を目的とする修法の際に拝まれています。

●密号: 最勝金剛。阿閼如来の变化身です。

## 3 不動明王 ふどう みょうおう

密教特有の尊格である明王の一尊で、五大明王の中心となる明王です。「お不動さん」の名で親しまれ、大日大聖不動明王、無動明王、無動尊、不動尊などと呼ばれています。

また真言宗をはじめ、天台宗、禅宗、日蓮宗等の日本仏教の諸派および修験道で幅広く信仰されています。

●密号: 常住金剛。大日如来の变化身です。

## 4 軍荼利明王 ぐんだり みょうおう

手に軍持を持っていますが、軍持とは水瓶のことで、甘露の智水を入れる器を意味します。この尊は各經典に「能く毘那夜迦等の障碍を除く」と説かれています。毘那夜迦とは悟りを妨げる魔のことを指しており、その為、密教の修法における結界は全てこの軍荼利明王が司ります。

また降三世明王と同じく主として調伏、あるいは息災を目的に修法されています。

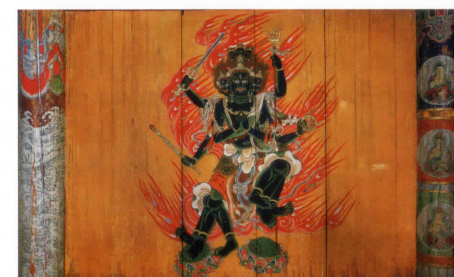
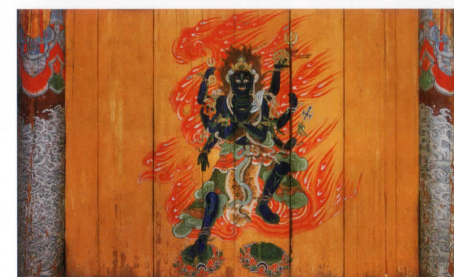
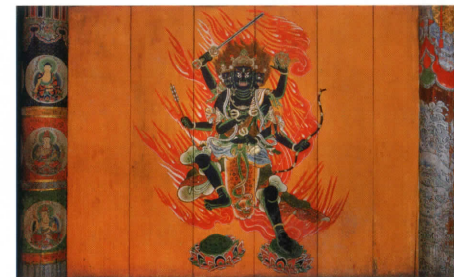
●密号: 甘露金剛。宝生如来の变化身です。

## 5 大威徳明王 だいいとく みょうおう

この尊は六面六臂六足(六つの顔、腕、足)に描かれることが多い為、別名六足尊とも呼ばれています。善人に悪意を抱く者や危害を加えようとする者を懲らしめ、悪人の呪詛を破り、悪夢を消滅し、悪病を除くことに靈験あらたかです。

この尊の特別な修法としては前述のような悪夢を消滅させるものや、夫婦離別や相思相愛の者を別れさせる為に祈祷される場合もあり、主として調伏の修法に用いられます。

●密号: 持明金剛。阿弥陀如来の变化身ですが、文殊菩薩の忿怒形ともいわれています。





# 372年、

秘められた時を越え、**五髻の明王**初公開。

第51世門跡晋山記念

初公開：金堂裏堂 五大明王壁画／経蔵

仁和寺 秋の特別拝観 Ninnaji Temple  
Special Admission

平成30年 10月13日(土) - 12月16日(日)

| 拝観時間 | 9:30 - 16:30 (16:00 受付終了)

| 拝観料 | 一般800円

高校生以下無料(次世代への文化支援)